

# 国労東日本第29回拡大委員会を開催 仲間の信頼を掴み 一人ひとりを大切にする運動を!



(組合員の購読料は)  
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 高野苗実  
編集責任者 伊藤隆夫

No. 723 定価  
20円

2012年  
3月 12日

支えあい笑顔で作る  
明るい職場、  
あなたの加入が未来をつくる!!

<http://www.e-nru.com>



携帯用ホーム  
ページはこちらの  
QRコードから



国労東日本本部は、2月11日に長野県長野市に於いて第29回拡大委員会を開催しました。委員会は、冒頭、1月20日の信越線・黒姫〜妙高間で発生した協力会社社員の死亡事故に対し黙とうを行い、哀悼の意をささげるとともに再発防止に向け運動の強化を誓い合いました。

発言では、貨物協議会からの特別発言を含め13名が行い、組織強化・拡大をはじめとする闘争方針を拍手で承認するとともに、東日本規約の一部改正について提案。その後、委員会宣言（ホームページに掲載）を採択し閉会しました。今号は、委員会特集とします。



## 委員からの 言 13名

- ① 特別発言・斎藤（貨物）  
◆ 一歩間違えば大事故という事象が一向に無くならない。ヒューマンエラー対策と並行して効率化事業との闘いを! ◆ 今春闘では、客貨一体は勿論のこと創意工夫した取り組み
- ② 長野地本・飯島  
◆ 組織拡大、支部として定期的な会議を開催。通年の取り組みとすべく4つの項目で意思統一。一方、若年退職する組合員もいて仲間の現状把握も大切。◆ 人事・賃金制度問題は多々あるが導入はされる。今後の調査活動が大切。
- ③ 東京地本・野佐根  
◆ 委託会社・関連労働者の労働条件について交渉窓口をJRに限るのではなく、委託会社にも要求をぶつけ直接交渉の道筋を! ◆ 放射能汚染につ



議長 田中委員（東京）、副議長 恒本委員（東京）



執行委員長  
高野苗実

賃上げ5,000円要求  
組織拡大に全力で!

今委員会の課題、1つには12春闘。すでにJR各社に5,000円の賃上げと併せて「震災復興慰労」の申入れを行った。春闘は大変厳しい状況だが要求獲得に向け全力を上げたい。2つには、「安全・安定」輸送確立について。現在、車両検査外注化について、今後は基本交渉。安全輸送を守っていく観点から交渉を取り組んでいきたい。また、「駅業務委託の推進」についても提案、これまでの効率化検証に基づく改善から、「安全・安定」輸送確立に向け取り組む。3つには、「人

事・賃金制度の見直し」。交渉の中で危惧する問題もあり、実施後の制度検証の取り組みについて意思統一を。4つには、組織強化・拡大。JR不採用問題が終結し、将来を左右する最も重要な課題、若い仲間や脱退していった仲間に対する復帰・加入を呼び掛けたい。

最後に、反原発・脱原発の闘いについて。放射性物質の拡散は全国的な問題。労働組合として、反原発・脱原発の立場から地域の仲間と連携を図り取り組む!

(ホームページにて全文掲載)

- ◆ 申7号に「鉄道用地の測定・除染」の要求が入っていないがなぜ? ◆ 契約社員の仲間を機関としてどう守るのか、闘う決意が求められている!
- ④ 秋田地本・高橋  
◆ 今後エルダー社員をはじめ出向者が増えていく中で、分会結成は重要、指導を! ◆ 人事・賃金制度について、試験が公正・公平に行われるかのチェック・調査を! 議事録に和解の精神を入れたことは現状精一杯の前進!
- ⑤ 千葉地本・松田  
◆ 会社は一昨年に、設備メンテ改善を提案。我々が求めるものとは程遠い。地方だけでは解決できないものはエリアで!
- ⑥ 東京地本・水越  
◆ 人事・賃金制度について、問題が多い内容だけに就業規則改正にとどめることなく、丁寧な議事録確認から締結を求めると共に、労働協約についても協議出来る環境の整備を! ◆ 山は動く情勢、「あらゆる力」「すべて

の仲間」を取り戻すことが国鉄闘争の最終的な勝利！

⑦ 東京地本・粉川

◆今後行おうとしている職業業務委託は、鉄道輸送業務として委託してはいけないところまで委託しているのでは？◆施策提案してきた会社の責任を果たさせるためにも、委託先職場の問題で本社・本部間のルール作り、地方での交渉できる形を！

⑧ 仙台地本・秋山

◆飯山線で起きた踏切事故の当事者2名が、先日懲戒免職された。エリア本部として、声明や撤回の署名などの考えは？◆委託先会社にGS社員やエルダー社員が雇用されても、賃金・労働条件の格差がある。エルダーの雇用先提示と併せ交渉の強化を！

⑨ 盛岡地本・佐々木

◆組織拡大については、この1〜2年が勝負。全国的な流れに遅れないように持ち場で精一杯頑張る！◆人事・賃金制度は、一括和解の趣旨を会社に守らせたうえでの協約化

を！

⑩ 高崎地本・倉林

◆人事・賃金制度。「労働組合の根拠である団結を阻害する内容が含まれている。」と提起しているのに何故協定化なのか？◆貨物問題、ストライキで闘う姿勢、結果として前進面がなくとも逆に議論の一步として団結を打ち固める。◆職業業務のさらなる推進は、夜間一人勤務や輸送障害時の指令対応など障害に追い打ちをかけるような状況。実施時期含めて労働組合を相手にしていない事案だ。

⑪ 水戸地本・赤沼

◆震災・原発関連について。災害避難勧告等により住居に居住出来ない場合、1年間社宅使用料は無料。あと少くも、期限が切れる。放射線に関する取り組み強化と制度に関する取扱いを！◆新たな制度が実施される。これまで就業規則という極めて個人的契約から労働組合としての関与を最大限活かす我々の意思統一にかかっている。

⑫ 東京地本・井草

◆震災から1年。神奈川地区本部でも支社に震災津波対策など申入れ交渉を行った。労働者・国民の足を守る立場から本社の提案、対策を！◆契約社員の正社員化にむけ地区本部は非正規問題で学習会。そのうえで、①正社員が原則②鉄道事業は直轄の立場を！

⑬ 仙台地本・小松山

◆福島県支部は原発事故後、屋外作業が多い設備分會を中心に放射線対策を議論。会社は「国の基準を超えない」の姿勢。現場で作業する以上線量測定を把握することである程度は安心。支援を！◆人事賃金制度の見直しは協定化で、文言を議事録に加えたことは少数の国労としては大きな前進。

◆「3・11『原発』」

「3・11『原発』」ふくしま県民集會への支援を！



書記長集約 松井正義

職場・労働環境に対する 取り組みを前進させ 組織の強化・拡大に 全組合員で取り組もう

1. 原発事故に関わる諸課題 社員・家族の安全・安心の担保がなければ「安全・安定輸送の確立」はあり得ないというのが基本。

2. 人事・賃金制度の見直し 新たな制度が実施されると、時間の経過が増すほどに職場の問題が増大する。したがって正・改善を求める取り組みが重要となる。制度に対する協定化は取り組みの手段としても重要。

3. 12年春闘について 中央委員会決定に基づき、2月8日5,000円のベースアップを含む7項目をJR東日本に申入れを行ってきた。また、別件として大震災復興の社員への慰労として社員一人5万円の旅行券を年度末に支給することも求めた。

4. 職場・労働環境について (1) グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進 09年に提案されて以降、合理化対策委員会の設置、各地方での対策会議を開催し、取り組みの展開を図ってきた。今後は基本交渉に推移していくが、再度合理化対策委員会の活性化を図り、職協・地方機関一体となつた取り組みを進めていく。また、「偽装請負等」を題材とした学習会についても開催していきたい。

(2) 職業業務委託のさらなる推進について 今後の地方提案・交渉の推移を見ながら、再度東日本本部として関係地方、職協を交えた会議を召集したい。また、GS社員問題と併せての取り組みから、早急に「駅のあり方施策」の検証を進めていきたい。

(3) エルダー社員問題 労働条件改善等に関わる課題については、労働条件に関する協約の交渉の中で取り扱っていく。また、出向先等での様々な問題については、一昨年8月に会社側と一定の合意に達した「ルール」に基づき取り扱って行きたい。再

5. 平和と民主主義擁護の取り組み 11福島での大集會等、全国各地で脱原発・反原発の集會や様々な取り組みが行われる。各地方での取り組みに對してしっかりと支援していく。

6. 組織強化・拡大 組織拡大についてさらなる大きなうねりを作り出すためには、国労自らの必要性・重要性を職場で高めていく以外にない。この間国労の旗の下に結集してくれた新たな仲間の声があることを物語っている。今年度助役試験に合格した組合員は全体で10名を数えるに至っている。また、昨年度の合格者は7名である。そうした

一方で20回以上試験を受けても不合格の扱いを受け続けている組合員もいることも紛れも無い事実である。 私たち国労は、職場における一切の差別を許さず、常に弱者の目線に立つことが重要であると考える。そして助役職等の受験をはじめ、職場のリーダーを目指す組合員も数多くいることも事実。大衆組織である労働組合であるからこそ、広範な仲間の結集と広範な議論展開が必要である。まさに国労らしさといえる。 職場において仲間の信頼を掴み、一人ひとりを大切にす

る運動と取り組みを一層強化することを約束し、第29回拡大委員会の集約とする。

最新のがん治療に合わせて 進化したアフラックの新しい 「がん保険」です。

Advertisement for Affac cancer insurance. It includes a logo for Affac, contact information for agents (Tel: 03-3437-6810), and a small illustration of a person holding a heart.